

杭強度試験装置の改良について

令和 2 年 4 月 20 日
一般財団法人ベターリビング

一般財団法人ベターリビング つくば建築試験研究センターでは、杭強度試験装置の改良を行いました。主な改良内容は以下の通りです。

1. 反力架台を可動式に改良
2. 常設足場の設置

これらの改良により、試験効率および安全性が飛躍的に向上し、試験準備に要していた時間が、従来の装置と比較して 25%程の短縮が見込めます。

当該試験装置では、杭体の曲げ試験以外にも、鉄骨部材の曲げ試験、圧縮試験などを実施することが可能です。また、単調曲げ試験のみならず、繰返し曲げ試験にも対応しております。

つくば建築試験研究センターでは、信頼性の高い試験結果を迅速に提供すべく、設備の拡充・試験の効率化に努め、皆様のご要望に応じてまいりたいと存じます。



□杭強度試験装置の概要

- ・油圧ジャッキ容量 5000kN、ストローク：±250mm
- ・支持点性能 スライド量：±500mm、回転角度：±10°
- ・対応可能な杭試験体のサイズ(目安)

杭径：φ 300～1200 mm、杭長さ：4～11m、最大曲げ支点区間：10m

ご不明な点がございましたら、下記の担当者までご連絡下さい。

問い合わせ 担当：つくば建築試験研究センター 服部、高橋
〒305-0802 茨城県つくば市立原 2 番地
電話：029-864-1745 FAX. 029-877-0050
Mail：info-tbtl@tbtl.org